宮城県多賀城高等学校

命を守る学び
～多賀城高校災害科学科～

unesco
Member of
the Associated Schools
Network

SSH
Super Science High school

目次

1. 災害科学科の概要
2. 震災アーカイブについての学習
3. 多賀城津波伝承まち歩き
3. 課題研究

Ⅰ．災害科学科の概要　多賀城高等学校の 3.11

14:46

職員室の様子

校庭避難

- 激しい雪
- 近づく日没
- 備蓄なし
- 防災無線故障

下校許可（15:40頃）

ただし津波の想定せず…

- 約半数帰宅
- 残りは学校待機

生徒１０８名が翌朝まで待機

避難生徒の様子

ストーブで暖

製油所火災

ろうそくの灯り

生徒の安否記録

Ⅰ．災害科学科の概要　多賀城市の被害

Ⅰ．災害科学科の概要　多賀城市の被害（3.11　16:00 頃）

写真：たがじょう見聞憶より

国道４５号　多賀城駅前歩道橋

数分後

産業道路近く　宮内地区

都市型津波とは

海と逆方向からの波
河川の遡上
道路の水路化

ビル間を抜け
「縮流や合流」
甚大な波力

津波の接近に気づき
にくく非難が遅れる

１．災害科学科の概要　多賀城市の被害（3.11　16:00 頃）

写真：たがじょう見聞憶より

１６：００頃の
国道４５号

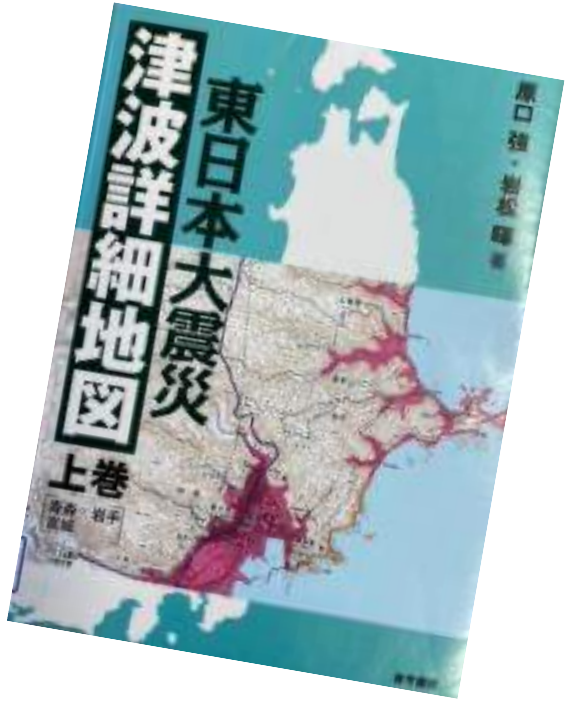
17:30頃

この後も断続的に波が押し寄せ、時折雪が降る中
歩道橋上で身を寄せ合い夜を明かした

下校許可は正しかったのか？

Ⅰ．災害科学科の概要　「浸水域マップの作成」（2012年）

その教訓から　帰宅許可の判断材料として



大阪市立大学
原口強先生著
「津波詳細地図」
古今書院

Ⅰ．災害科学科の概要　「津波の痕跡調査」（2012年夏～）

理科教員と有志生徒により
津波の高さを記録し最寄りの
電柱にマーキング

2011年3月11日　東日本大震災

2016年4月　「災害科学科」開設

震災から学んだ教訓を確実に次世代に伝承するとともに，
将来国内外で発生する災害から多くの命とくらしを守る
ことができる人材を育成するため

第２期教育振興基本計画
被災地から発信する
未来型教育モデル

指導・助言

兵庫県立舞子高校「環境防災科」
平成14年４月に開設

＊宮城県防災専門教育アドバイザー（防災の専門家からの提言）
＊職員は東北大学の聴講生として防災・災害を学ぶ

２．震災アーカイブについての学習

2．震災アーカイブについての学習　災害科学科の教育活動

体験的な学び

・被災地での巡検
・民間企業等との合同訓練

教育課程

防災・災害を軸とした学校設定科目

震災伝承活動

津波伝承まち歩き

先端研究の学び

・先端研究講話
・先端研究を行う研究所訪問研修

科学的な探究活動

「SS災害科学研究」（実働型の科学的探究活動）

学びの発信

・学会
・シンポジウム
・交流会　　等

産官学連携　地域連携　国際交流　ボランティア活動

Miyagi Prefectural Tagajo High School

災害科学科の学習（校外実習・研修）

松島浦戸諸島巡検

栗駒巡検（地滑り）

つくば防災科学研究所

石巻市立大川小学校

気仙沼向洋高校旧校舎（震災伝承館）

復興した女川町

伝承

体験的な学び（巡検・研修）

震災以前の
くらしを学ぶ

自分の目で見て，聞いて，感じることで課題発見

産学官連携　地域教育　国際交流　ボランティア

先端研究を学ぶ

研究機関や大学，
地域企業などと連携

科学的に探究

課題研究で
見出した課題解決を目指す

学びを発信

高校生だから
伝えられること

2．震災アーカイブについての学習　災害科学科の教育活動

巡検

【多賀城・七ヶ浜巡検】
・1年次4月実施
・多賀城市・七ヶ浜町における東日本大震災の被災状況を観察・調査
　⇒多賀城市が作成した、震災アーカイブ「たがじょう見聞憶 」について、
　　多賀城市危機管理様から講話

【栗駒・気仙沼巡検】
・栗原市における岩手宮城内陸地震、気仙沼市・南三陸町における東日本大震災の被災状況を観察・調査

【浦戸・大郷巡検】
・浦戸諸島における松島層と大塚層の露頭見学、断層の観察・調査
・大郷町における令和元年東日本台風の被災状況と河川防災を調査

【石巻・女川巡検】
・東日本大震災の被災状況を調査し、震災の記憶を未来と世界へ発信する主体者としての資質を涵養する

2．震

巡検

【多
・1年
・多
⇒

【栗
・栗
被

【浦
・浦
・大

【石
・東
と

史都・多賀城　防災・減災アーカイブス

たがじょう見聞憶（けんぶんおく）

えよう千年後の未来へ。

たがじょう見聞憶とは | 震災前の防災・減災 | 震災直後の被災状況 | 震災直後の応急対応 | 震災後の復旧・復興 | 千年先への伝承 | アーカイブ検索

支えあい、笑顔あふれる未来を目指してつながろう！ 多賀城。

千年の歴史を伝える史都・多賀城。
東日本大震災を乗り越え、数多くの「出会い」と「つながり」、「絆」に支えられながら、未来に向かって歩みつづけます。

NEWS

2022年1月31日　「震災復興業務に係る手記」を公開しました。

たがじょう見聞憶：https://tagajo.irides.tohoku.ac.jp/index

震災伝承活動における「たがじょう見聞憶」活用

◎自分たちの学び

◎参加者の学び
「津波伝承まち歩き」体験後
さらに詳しく、
自分で調べらるように

このあたりで止まりました。
ドミノピザの看板になりましたが、
はセブンイレブンでした。

鎮守10

多賀城駅側を背に多賀城イオン方面を向いて撮影したものです。カーブミラーは今もそのままです。
（八幡25の写真の反対側から撮影されたものです）

八幡24

カーブミラーの反対側の路地です。
黄土色の石塀は今もそのままです。

八幡24

多くの住宅が震災後建て替えられましたが、右奥の白い建物の屋上にある給水塔と、斜めになっている車の後ろにあるカーブミラーは今も残っています。
（八幡24の写真の反対側から撮影されたものです）

八幡25

目の前の塀に車が入ってます。
奥のアパートはまだ残っています。

八幡27

「たがじょう見聞憶」の活用

◎自分たちの学び

◎参加者の学び
「津波伝承まち歩き」体験後
さらに詳しく、
自分で調べらるように

国立国会図書館
東日本大震災アーカイブ
「ひなぎく」に関する特別授業
（2024年2月27日オンライン実施）

- デジタルアーカイブ、
  震災アーカイブ等の概論
- 「ひなぎく」の使用方法と演習

⇒課題研究で活用する班もある

- 昨年度、復興庁主催の「新しい東北」事業
  にて宮城県の復興PRパンフレット作成に活用！

「新しい東北」官民連携推進協議会：
https://www.newtohoku.org/works_report/works_detail_123.html

TOHOKU MOMENT
招待状の紹介

復興庁, “TOHOKU MOMENTの取り組み紹介,” 万博プレイベント – 復興ポータルサイト, accessed January 6, 2026, https://expo2025-portal.reconstruction.go.jp/preevent/02/.